

自然共生サイト (OECM) 認定支援サービス開始!

～循環経済、脱炭素に生物多様性保全を加えた3本柱による取り組みが注目～



ー自然共生サイト認定登録に必要な手続きをワンストップで提供しますー

生物多様性における2030年国際目標の1つとして、生物多様性の観点から2030年までに世界の陸と海の30%以上を保全する(30by30目標)が定められました。

環境省は、民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域を“自然共生サイト”として認定する制度を開始し、認定区域のうち、保護地域との重複を除いた区域はOECMとして国際データベースに登録されます。

私たちは、自然共生サイトに登録された響灘ビオトープの登録手続き等の実績や豊富な自然環境調査・分析の経験を活かし、企業様の自然共生サイト認定登録に必要な基礎調査や計画立案などをワンストップで提供します。

サービス内容 ～企業様の土地を活用した生物多様性保全を推進～

	項目	内容
自然共生サイト 認定申請	基礎情報としての生物調査	対象地の生態系の価値を評価
	企画提案、計画策定	生物調査計画、維持管理計画を協議しながら作成
	改善提案	生物調査結果に基づく改善を提案
	申請書作成	申請に係る書類一式を作成
関連	生物調査計画、維持管理計画策定	登録後の維持管理のための生物調査、保全対策などを協議しながら作成
	地域住民向けイベント、従業員教育	自然環境学習による取組みの加速
	情報開示	地域住民・団体、有識者、行政などとの連携による取組みを支援

自然共生サイトの対象となる主な場所

- 企業の森
- 企業ビオトープ
- 企業敷地内の緑地
- 森林施業地
- 水源の森
- ゴルフ場
- スキー場
- 教育・研究機関の緑地
- 環境教育に活用されている森林
- 遊水池
- 建物の屋上
- 試験・訓練のための草原
- 大型の集合住宅や商業施設の緑地

サービスの特徴

1 自然環境および都市インフラのスペシャリストが対応

約30年におよぶ自然環境調査や環境コンサルティングサービスの実績を活かし、自然環境調査、維持管理や保全対策の提案などを行ったり、グリーンインフラやNbS(Nature-based Solutions・自然を基盤とした社会課題の解決策)などを具現化したりするなど、総合的な視点から事業者様のネイチャーポジティブを支援します。

2 TNFD に対応

国際的な生物多様性の情報開示フレームワークTNFD(自然関連財務情報開示タスクフォース)の取り組みに一部対応しています。TNFDにおける開示の準備段階における生物多様性の重要な地域または劣化している地域を抽出し、当該地における自然の状態調査など、TNFDに関連したサービスを提供します。

3 社内研修や地域連携を支援

生物多様性保全は、自然共生サイトに登録することがゴールではなく、それらを維持することが肝要です。そのための従業員様向けの生物多様性をテーマとした研修や地域とコラボしながら保全するための地域連携を支援します。

福岡県内で唯一

響灘 ビオトープが

国の「自然共生サイト」に認定!

響灘ビオトープの生物多様性の価値について

- ・自然環境学習拠点として機能し、800 種の多様な動植物からなる健全な生態系が存在している
- ・チュウヒやベッコウトンボ等の絶滅危惧種が生息、生育している
- ・環境省の「生物多様性の観点から重要度の高い湿地」に選定されるなど、生物多様性保全上の重要性が認められている



株式会社福山コンサルタント(福岡市博多区)と株式会社エコプラン研究所(北九州市若松区)が参加する響灘ビオトープ共同事業体「響灘JV」が指定管理者を務める

「響灘ビオトープ」(北九州市若松区)は、国の『自然共生サイト』に認定されました。

認定された 5つのポイント

サイトの特性に応じたオーダーメイドの管理と多主体協働による生物保全活動、多世代に対する体験型の環境学習など、私たちが指定管理者として行う業務と生物多様性を向上させる独自の取組が評価されました。

1 ベッコウトンボやコオイムシ等、湿地に生息する希少種が確認されることから、環境省の「生物多様性の観点から重要度の高い湿地」として選定されています。

その中でも、環境省レッドリスト 2020 絶滅危惧ⅠA 類であるベッコウトンボ(5県のみで確認)及び同ⅠB 類チュウヒ(1道6県のみで確認)が確認され、ベッコウトンボについては、生育環境維持のため、抽水植物の抜根除草や人工飼育にも取り組んでいます。また、チュウヒについては、採餌や繁殖環境を整えるため、複数年をかけて除草を行っています。

2 700種以上の在来種が確認されているとともに、次のようなサイトの生態系サービスを活用した取組が行われています。

- ・小学校をはじめ様々な世代に向けた自然環境体験学習
- ・市外からの修学旅行や企業研修、海外からの研修生などニーズに応じた環境学習、啓発
- ・多世代の市民参加型の生物観察会や保全活動等

4 渡り鳥の繁殖呼び込み、水生昆虫等の生息環境維持、入園者の散策性向上のために、エリア毎に計画的な除草や池干しなど管理を実施しています。

3 環境省レッドリスト 2020 で絶滅危惧Ⅰ類、Ⅱ類、準絶滅危惧などに選定されている種が 31 種、福岡県レッドデータブック 2014 に選定されている種が 33 種確認されています。

5 毎月実施している鳥類調査で、オカヨシガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ等の冬鳥や、コアジサシ、オオヨシキリ等の夏鳥が確認されるなど、季節毎の代表種が確認され、抽水植物の伐根除草等による湿地環境を維持、飛来する種に適した時期に草刈を行う等による草地・砂礫地の植生管理を行っています。